

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	伊藤 数馬	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
課題解決型学習の基礎、専門演習の入門と位置づける。課題解決型学習の例として、地域活動プロジェクト、地域スポーツイベントプロジェクト、学内イベントプロジェクト（大学祭、スポーツ大会など）の活動がある。課題解決型学習の授業手法を取り入れてグループで専門に関連する課題を設定し、解決する。その成果を機会を設けて報告する。			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。卒業研究に必要な基礎知識、技能を学ぶ。講義の内容に応じて、ディスカッション及びグループワークを取り入れる。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーションー課題解決型学習とはー	講義概要の説明と課題解決型学習とは何かを考察する。	<input type="checkbox"/>
第2回	専門演習の入門と位置づけ	専門演習の入門と位置づけについて理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	課題解決型学習について	課題解決型学習【PBL (Problem-Based Learning)】の基礎について学習する。	<input type="checkbox"/>
第4回	イベントプロジェクトの検討ー地域活動プロジェクト	地域活動プロジェクトの具体的内容を検討する。	<input type="checkbox"/>
第5回	イベントプロジェクトの検討ー地域スポーツイベントプロジェクト	地域スポーツ イベント プロジェクトの具体的内容を検討する。	<input type="checkbox"/>
第6回	イベントプロジェクトの検討ー学内イベントプロジェクト	学内イベントプロジェクトの具体的内容を検討する。	<input type="checkbox"/>
第7回	イベントプロジェクトの検討ー大学祭	大学祭についての具体的内容を検討する。	<input type="checkbox"/>
第8回	イベントプロジェクトの検討ースポーツ大会	スポーツ大会についての具体的内容を検討する。	<input type="checkbox"/>
第9回	中間報告発表会	中間報告発表会を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	課題解決型学習のグループ学習 (1) 課題発見	テーマに関する課題を見つけ、討議する。	<input type="checkbox"/>
第11回	課題解決型学習のグループ学習 (2) 計画立案	テーマに関する課題解決のための計画を作成立案する。	<input type="checkbox"/>
第12回	課題解決型学習のグループ学習 (3) 資料収集	テーマに関する資料を収集する。	<input type="checkbox"/>
第13回	課題解決型学習のグループ学習 (4) 発表準備	グループ (A、B) ごとに分かれて、発表内容をまとめる。	<input type="checkbox"/>
第14回	A グループの成果の発表・報告	A グループの発表によって発表内容を深める。	<input type="checkbox"/>
第15回	B グループの成果の発表・報告	B グループの発表によって発表内容を深める。	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)	
講義時に提示されているテーマについて、事前にリサーチしてから授業に臨む(2時間程度)。講義で学んだ内容等については、実践 (実習) で使えるよう反復練習する(2時間程度)。	

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)	
---	--

学生たちが各々の発表について意見を出し合う、また教員が解説や補足することにより、改善に向けてのフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	各自、卒業研究のテーマを設定し、研究計画を立案することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	体育科授業や運動遊びに関心を持ち、それらを論理的にとらえることができる。
主体性	◆ 2019子ども発達DP3	自らの関心に基づき、文献・資料・データを収集して問題点を指摘することができる。

■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で扱ったテーマについて、概要を調査し、自分の考えをまとめ、レポートを作成する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	必要に応じて講義時に配布する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	必要に応じて講義時に紹介する。	
2		
3		
4		
5		